

言の葉

～和歌山県言語聴覚士会 機関紙～

第21号

2021年8月

| | | | |
|-------------|---|---------------|----|
| 会長挨拶 | 1 | 施設紹介 | 7 |
| 総会報告 | 2 | STの仕事って楽しい!? | 8 |
| 各局活動報告 | 3 | 新入・退会・異動等会員情報 | 8 |
| 総会・講演会に参加して | 3 | 議事録要約 | 9 |
| 新人会員挨拶 | 4 | 編集後記 | 11 |
| 本紹介 | 6 | | |

会長挨拶



会長 琴の浦リハビリテーションセンター 山崎 良一

会員の皆様におかれましては、県士会活動にご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大により皆様の仕事や生活に多大な影響を受けたこととお察しいたします。

県士会活動もかなりの影響を受け、令和2年度の研修会や事業のほとんどが中止になり、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。当士会も多くの法人で導入されている、Zoom等によるWebシステムを取り入れ、理事会と令和2年3月には学術局主催による症例検討会を開催いたしました。今後はWebシステムを使用して

学術局、教育局主催の研修会等も実施していきます。

また和歌山県との協同事業である失語症者向け意思疎通支援者養成研修会を、地域支援局主催でしっかりと感染症対策を行いながら40時間のカリキュラム(座学・実習)を実施しております。コロナ禍での実施ということもあり、開催が困難な状況ではありますが、感染症対策など万全の注意を払い、また和歌山県とも密に連絡を取りながら開催して頂いております。

コロナ禍はもうしばらく続くと思いますが、医療従事者へのワクチン接種も約半数は終了し、高齢者への接種も進んでおります。一般の方への接種が終了した頃には世の中が少し落ち着いていることを期待しますが、生活様式は当面の間、今と変わることがないかもしれません。我々の生活様式や業務の仕方が変わったとしても、STとして果たす役割が変わることはありません。今後も引き続き感染予防対策を行い業務に従事して頂きたいと思っております。

このような状況の中ではありますが、会員の皆様のご健康と、益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

総 会 報 告

事務局理事 和歌山ろうさい病院 岩本 吉城

令和3年6月27日（日）和歌山市東部コミュニティセンター2階会議室にて一般社団法人 和歌山県言語聴覚士会 令和3年度定時社員総会が開催された。昨年度同様今年度も定時社員総会は、新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大の懸念から会員の参加を自粛していただき役員のみでの総会開催に手法変更し、会員からは書面による委任状・議決権行使書、質問にて意向が反映できる方法で行われた。

10：00～ 令和3年度定時社員総会が開催された。司会 山崎良一 会長により開会宣言があり、続いて 山崎良一 会長より挨拶が行われた。次に定足数報告があり令和3年度議決権のある正会員 157名、そのうち会場出席者 10名、委任出席者 50名、議決権行使書提出者 40名、合計 100名で総会は適法に成立した旨が宣言された。議長に 古久保良 理事が選出され、書記に 岩本吉城 理事が任命され総会が進行した。第1号議案 令和2年度事業報告に関する件は、各担当局理事より報告があり全会一致により承認された。第2号議案 令和2年度決算報告に関する件は中武夕真 理事より報告がなされた後、西本千津 監事より「令和3年4月22日に監査を行った結果、会計は適正に処理しているものと認める。」と報告があり全会一致で承認された。第3号議案 令和3年度事業計画案に関する件は、各担当局理事より説明があり全会一致により承認された。第4号議案 令和3年度予算案に関する件は、中武夕真 理事より説明がなされ全会一致で承認された。第6号議案 その他のに関する件は、山崎良一 会長より説明がなされ全会一致により承認された。

11：00 議長は本日の議事が終了した旨を述べ、閉会を宣言した。



各局活動報告

< 学術局より >

学術局理事 中谷病院 青木 健太

3月27日に学術局にて、初めてZoomを使用したWeb症例検討会を開催いたしました。参加者は24名で、活発な助言や質問も多く大盛況となりました。世間では新型コロナウイルス感染拡大が落ち着く気配がないため、今後も現地開催は難しく、オンライン開催が主流になってくると思われます。現地で行えないことの欠点は多いですが、オンラインの利点として、広い和歌山県の中で北部から南部の会員まで、皆様が簡単にご参加いただけることです。今後も学術局では、オンラインにて症例検討会や勉強会等を開催していく予定です。皆様のご参加を是非お待ちしております。

Web 症例検討会に参加して

中谷病院 田村 彩乃

今回Web症例検討会に参加し、自分自身の苦手分野を克服したいという思いから、失語症の患者さんを選ばせていただきました。資料を作成するにあたり、たくさんの文献や教科書を読み、再度基礎的な知識から学び直す良い機会となりました。発表後の質疑応答では、自分とは違う視点からの質問や先生方からご教授いただくことができ、大変勉強になりました。資料作成や準備は大変でしたが、知識や経験など得られたものも多く、今後の臨床で活かしていきたいと思えます。

新宮医療センター 中村 和貴

この度このような機会を与えていただきありがとうございます。なぜ今回検討会に参加したのか？参加してどう感じたか？簡単に書かせて頂きます。

私が県士会の取り組みに参加したのは今回で2回目だったと記憶しております。前回は地域ケア会議の研修会に、片道3時間かけて和歌山市まで参加しました。20代の元気が私にはありませんので「流石に次はないな」と思っていた所、県士会からのメールが目にとまり、軽い気持ちでWeb症例検討会に参加しました。若い先生方の発表、ベテランの先生方のフィードバック、私も昔は発表してきたなあ〜と懐かしく、新鮮な気持ちになりました。これまで県士会活動に参加してこなかった私ですが、今後もWebなら参加していこうかと思えました。



新入会員挨拶

済生会和歌山病院 藤森 奈央



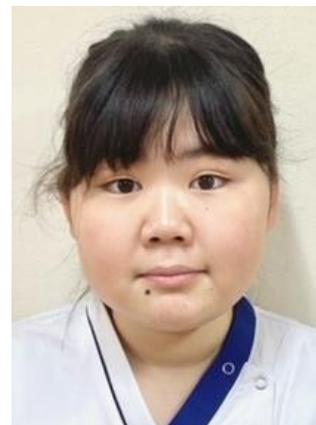
この度、4月に済生会和歌山病院に入職致しました、藤森奈央と申します。前職では回復期を中心に勤務させて頂いておりましたが、急性期という新たな分野での技術や知識をさらに身につけていきたいと思えます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ致します。

和歌山県立医科大学付属病院 笹岡 綾



今年より和歌山県言語聴覚士会に入会させていただきました和歌山県立医科大学附属病院言語聴覚士2年目の笹岡綾と申します。県士会での症例検討会や勉強会を通して、日々の臨床だけでは身につけられない知識や臨床力を学び、患者様により良いリハビリテーションを提供できる療法士になれるように励みたいと思えます。未熟な点も多々あるかと思えますが、ご指導のほど宜しくお願ひ致します。

貴志川リハビリテーション病院 増田 早紀



この度4月から貴志川リハビリテーション病院に入職しました増田早紀と申します。入職から2ヶ月が経ち、患者様と関わらせていただく中でわからないことがたくさんあり悩むことが多いですが、先輩方のご指導のもと日々臨床に臨んでおります。患者様と信頼関係を築き、寄り添えるような言語聴覚士になれるよう技術の向上を目指したいと思えます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。



角谷リハビリテーション病院 渡嘉敷 里桜

初めまして。今年の4月から角谷リハビリテーション病院に入職致しました渡嘉敷里桜と申します。入職して数ヶ月経ち、実際に患者様と接し、リハビリに励む毎日は勉強の連続です。まだまだ未熟ではありますが、知識・経験を積んでいき、患者様から「この人が担当で良かった」と思っただけのような言語聴覚士になれるよう精進してまいります。これからもどうぞよろしくお願い致します



角谷リハビリテーション病院 野口 楓奈

今年度より新人として角谷リハビリテーション病院に入職しました野口楓奈です。入職して数か月经ちましたが、初めてのことや慣れないことが多々あり毎日勉強の連続です。しかしそれと同時に、もっと多くのことを学んで自分自身の知識を増やしたいと強く思います。1人でも多くの患者様に寄り添えるような言語聴覚士になりたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。



今村病院 赤津 花凜

今年の4月から今村病院に入職いたしました、赤津花凜と申します。入職して数ヶ月が経過し、実際に患者様と接しリハビリに励みながら、私自身も勉強の毎日です。これからも、少しずつ知識を積み上げていき、患者様に寄り添ったリハビリを実施していけるよう精進していきたいと思っております。まだまだ知識不足ですが、今後ともよろしくお願い致します

本紹介

本紹介をリレー方式で行っています。自分が読んでみて「おもしろかった」「参考になった」など感じた本をご紹介します。

貴志川リハビリテーション病院 橋詰 晏奈

題名: 人形の眠る家

著者: 東野圭吾

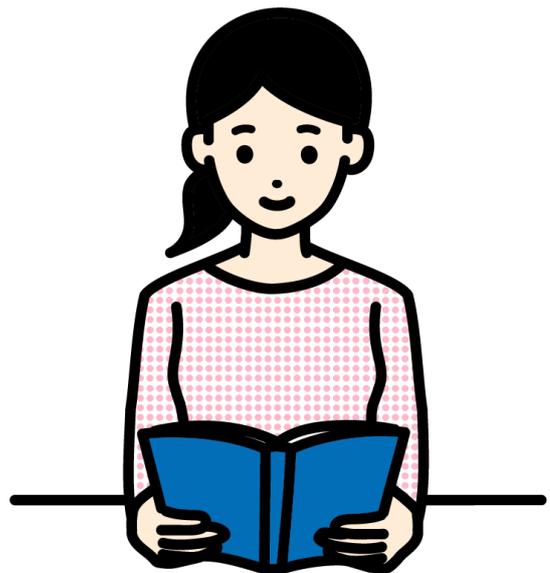
出版社: 幻冬舎文庫

今回紹介させて頂く本は、事故で突然脳死の状態となってしまった娘と、それに向き合っていく家族の物語です。一度は娘の死を受け入れようとする両親ですが、母親は諦めることができず、様々な手段を使い娘の世話をしていくことになります。そんな母親の思いを受け止めようとする父親は自身の仕事である、脳と機械の融合を目指したロボット機器の開発を進め、それを娘に適用できないかと考えていきます。

愛する我が子への愛情を巡り、少しずつすれ違っていく両親の思いには、本を読んでいて惹き込まれるものがあります。正解のない難しいテーマを題材としたこの本は、現在の日本の脳死に対する価値観等についても知ることができました。

映画化もされている作品です。もし興味があればぜひ一度読んでみて下さい。

*次回は貴志川リハビリテーション病院 菊澤巧磨先生にお願いしています。



施設紹介

山本病院



社会医療法人 博寿会 ST の和田篤史と申します。

「なんも要らん、メロンパンやったらちょっと食べるわ」とおっしゃるアパシーの 70 代女性、痰を詰まらせながら小声で「楽しみ言うたら食べることだけや」とおっしゃる、床上で多くの時間を過ごしておられるオーラルフレイルの 90 代女性。ここおよそ 5 年、当院においては昨今の超高齢化に伴い、従来、私達が接見してきた脳血管疾患に伴う嚥下障がいではなく、上述のような方々が多くご入院されるように思います。また肺炎後の欠食により、オーラルフレイルが進み、中等度の咽頭残留を認める 80 代男性、ポリファーマシーに伴う食欲低下があり、また食事の時間になると決まって眠ってしまう 80 代の方など。これまでとは違い、3 食実用経口を目指すといった杓子定規なゴールばかりではないのかと思う事例が多いように思います。「孫の持ってきた差し入れの羊羹やったら食べたい」「エンドステージにおられる

患者様の家族様が本人に茶粥を食べさせてやりたい」等。我々 PT16 名 OT6 名 ST3 名 リハ事務員 1 名（法人全体）で、その人にとって多様な「食べたい」「食べさせてやりたい」を少しでもサポートさせて頂ければと考えております。

名手病院

当院は和歌山県紀の川市にあり内科を中心とし、人工透析、整形外科、リハビリテーション科等を有し病床数 104 床（障害者病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟）の病院です。『やさしさと思いやり』の理念を掲げ地域の方々に開かれた病院として貢献することを目指しております。

当院では内科専門医が全身管理を行い、重複障害を有する方、人工透析患者様にも安全で効果的なリハビリの実施を行っております。リハビリテーション科は理学療法士 30 名・作業療法士 13 名・言語聴覚士 7 名が在籍しており、入院・



外来・通所リハビリ・訪問リハビリなど急性期から在宅までの多岐にわたり、職員全員がチームとなりリハビリテーションを提供しております。当院の特色の 1 つとして口腔嚥下チームの活動に力をいれており、客観的な嚥下評価・直接訓練を行い「食べたいものを食べたい形で最後まで食べる」を目標に活動しております。毎週嚥下回診を行い、VF 件数は約月 20 件実施。マーゲンチューブから経口摂取へ移行件数も多く、チームとして取り組みを行っております。また在宅医療に関わる方の疑問にお答えできるよう嚥下に関する DVD を作成し、事業所への配布を行い食支援活動にも力を入れています。高齢者の多い地域の為住み慣れた場所で安心して生活を送ることが出来るよう、地域に根差したリハビリテーションの提供を実施しております。

STの仕事って楽しい!?

このコーナーでは、会員が日常の中で『STの仕事って楽しい』と思う事についてエッセイを掲載しています。

白浜はまゆう病院 土井 計樹

言語聴覚士になり8年が経過しました。私は急性期から維持期まで各病棟を経験し、各回復過程でのリハビリテーションを学ぶことができました。また、各病棟を経験することで今何を求められているのか考えるきっかけとなり、自分の視野が広がり貴重な経験となりました。

患者様に関わる中では、あたたかい気持ちで患者様に寄り添えるセラピストになりたいと心がけています。入院生活は患者様にとっては辛く苦しいものが多いです。少しでも楽しいと思える訓練を考え、患者様を笑顔にさせつつ、自分も楽しいと思えるような仕事をしていきたいと思えます。また、入職して間もない頃に先輩から教えて頂いた『患者さんから学ばせてもらっている』という言葉を中心に留め、8年目になった現在も常に感謝の気持ちをもって仕事に臨んでいます。

何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され平穏な日々を取り戻せるよう心から願っております。

新入・異動・退会等会員情報

(令和3年8月現在)

<新入>

- 316 藤森 奈央 (済生会和歌山病院)
- 317 笹岡 綾 (和歌山県立医科大学附属病院)
- 318 菊澤 巧磨 (貴志川リハビリテーション病院)
- 319 増田 早紀 (貴志川リハビリテーション病院)
- 320 渡嘉敷 里桜 (角谷リハビリテーション病院)
- 321 野口 楓奈 (角谷リハビリテーション病院)
- 322 赤津 花凜 (今村病院)

<異動>

- 272 遠藤 祐輝 (貴志川リハビリテーション病院→株式会社カルナエイト訪問看護ステーションこむすび)
- 304 江川 遥平 (白浜はまゆう病院→那智勝浦町立温泉病院)
- 280 下代 真広 (和歌山生協病院→自宅)
- 87 小林 祥子 (角谷リハビリテーション病院→和歌山さくら支援学校)
- 262 西谷 泉 (那智勝浦町立温泉病院→くしもと町立病院)

<退会>

- 302 上西 亜弥 (海南医療センター)
- 267 野口 晴加 (中谷病院)

現在の会員数

正会員： 166名 学生会員： 0名 賛助会員： 2名 1団体

※氏名、職場、自宅など連絡先に変更がある場合は、必ず事務局までお知らせください。
郵便物が届かなくなる恐れがあります。

事務局：琴の浦リハビリテーションセンター 言語療法室内
TEL：073-481-4522 FAX：073-444-9792

議事録要約

令和3年度総会準備理事会

日時：令和3年2月2日 19:00～20:30 Zoom リモート会議

参加者：山崎 古久保 天野 岩本 静 中武 土井 青木 尾藤 中瀬

○山崎会長

総会資料印刷発送をより安い業者に変更。

○天野副会長

5月29日：日本言語聴覚士協会令和3年度定時社員総会（Zoom）参加予定

○古久保副会長

4月14日和歌山 JRAT 会議（Zoom）に参加

災害マニュアルを作成

5月16日（日）10時～12時、小児部門で症例検討会の予定（Zoom）

○事務局 岩本理事

4月16日 総会案内書 会員へ配信

5月7日議案書 校正完了

5月10日議案書印刷作業開始

総会案内発送6月初旬

総会質問受付配信6月6日。締め切り13日

総会書面評決締め切り20日

○社会局 静理事

第26回和歌山県病院協会学術大会シンポジウム

県士会からシンポジストに和歌山医科大学紀北分院大高先生を選出

○広報局 土井理事

Facebook と Instagram の案内を会員へメール配信

○財務局 中武理事

昨年度未納者3名、4月30日までに年会費の納入がなかったため強制退会

年会費の自動払込に向けて、二重払いにならないよう確認中

4月1日から5月10日までの年会費納入者は43名

5月11日今年度予算を各局に振込

○地域支援局 尾藤理事

4月17日（土）令和2年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修補習は中止

○教育局 中瀬理事

令和3年度生涯学習プログラム基礎講座開催7月4日（日）Zoom 使用

講座①13:00～14:00「臨床のマネージメントと職業倫理」板倉登志子先生

講座②14:15～15:15「研究法序論」静智弘先生

案内を会員に配信。HP 掲載

令和3年度第1回理事会議事録要約

日時：令和3年6月27日 11:00～

場所：和歌山市東部コミュニティセンター2F 会議室

参加者 山崎 古久保 天野 岩本 静 中武 土井 青木 尾藤 中瀬

○山崎会長

日本言語聴覚士より県士会公印押印を廃止

6月26日 日本言語聴覚士協会令和3年度春期都道府県会長会議 (Zoom)

○天野副会長

5月29日 日本言語聴覚士協会令和3年度定時社員総会 (Zoom)

会費・会員規定更新

○事務局 岩本理事

ホームページの操作方法は後日動画で配信

○社会局 静理事

医事行政とメディカルスタッフ団体及び病院協会長との懇談会開催見送り

ふれあい人権フェスタは情勢をみて参加予定

○広報局 土井理事

機関紙第21号8月発行に向け原稿依頼

○財務局 中武理事

年会費納入者112名(6月21日現在)

○地域支援局

1.令和2年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修補習

5月15日(土) 中止

6月19日(土) 13:30~17:00

場 所：和歌山市ふれ愛センター

参加者：受講者5名、会員5名

2.令和3年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修

8月7日(土)から全10回を予定

3.令和3年度失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修

10月23日(土)、24日(日) 開催

○教育局 中瀬理事

令和3年度基礎講座(7月4日開催予定) 受講申し込み数

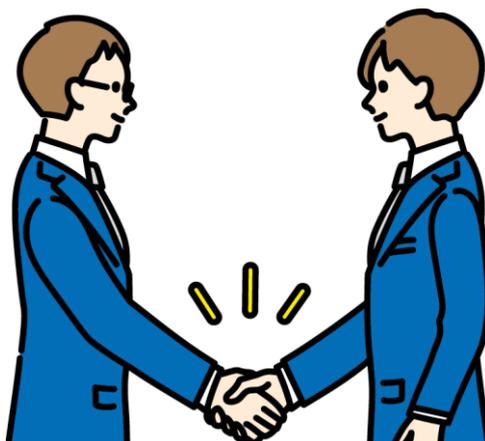
「臨床のマネジメントと職業倫理」板倉登志子先生 24名(県外10名)

「研究法序論」静智弘先生 32名(県外18名)

〔編集後記〕

今年度も引き続き和歌山県言語聴覚士会広報局を担当させていただきます。今回も機関紙発行に際しまして、お忙しい所多くのご寄稿、ご協力を頂きありがとうございました。直接顔を見合わせて集まるのが難しい昨今、会員の皆様と広報誌を通して、新たなつながりを作っていくことができると考えております。「こんな記事も載せて欲しい!」「もっと私たちの活動を知って欲しい!」など要望やご意見がございましたら、お気軽にご連絡、お問い合わせいただけますと幸いです。今年度も何卒よろしく願いいたします。

(白浜はまゆう病院 広報局員一同)



発行：和歌山県言語聴覚士会
会長 山崎 良一

事務局：社会福祉法人
琴の浦リハビリテーションセンター
〒640-0014 和歌山市毛見 1451
TEL：073-444-3141

編集：広報局
(公財)白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 1447 番地
TEL：0739-43-6200
FAX：0739-43-7891